

米国における複数の受注者との数量未確定契約 (2) 実施事例

天満 知生¹・森田 康夫²・佐渡 周子³・勝山 浩利⁴

¹正会員 国土交通省国土技術政策総合研究所 (〒305-0804 茨城県つくば市旭一番地)
E-mail:tenma-t924a@nilim.go.jp

²正会員 国土交通省国土技術政策総合研究所 (〒305-0804 茨城県つくば市旭一番地)
E-mail:morita-y92tc@nilim.go.jp

³国土交通省国土技術政策総合研究所 (〒305-0804 茨城県つくば市旭一番地)

⁴一般社団法人 国際建設技術協会 (〒162-0811 東京都新宿区水道橋3-1)

国土交通省直轄工事の調達では個別事業毎の一般競争入札かつ総合評価落札方式が一般的である。一方、調達対象が新設のみならず、維持管理から災害時の応急復旧など多岐に渡り、さらに受発注者の入札手続きに係る労力を考慮した場合に、各目的に応じた多様な調達手法の導入が求められる。

本論文は我が国の調達制度の参考となるよう、米国で事前に発注量が明確でない物品・サービスの調達について、発注者が複数の受注者と複数年契約を締結する数量未確定契約による2つの実施事例を調査し、取りまとめたものである。その結果、基本契約およびタスクオーダーにおける手続き期間、契約者の選定手法、タスクオーダーの応札者数等の運用の実態が明らかになった。

Key Words : Multiple Award Contracts, Indefinite Delivery Indefinite Quantity Contract, Task Order

1. はじめに

本論文は我が国での調達制度の参考とするため、米国で用いられている数量未確定契約 (IDIQ: Indefinite Delivery Indefinite Quantity Contract) の建設工事での実施事例について、インターネットの入札情報サイトに掲載された情報を用いて文献調査を行い、2つの実施事例について報告するものである。一部内容については、現地での発注機関担当者からの聞き取り調査により補足した。

数量未確定契約の概要については森田他 (2014) ¹⁾によるものとし本論文での説明は省く。なお本論文での金額の日本円での表示は1US\$=100円として計算した概算の値である。

2. 実施事例の概要

数量未確定契約の適用事例について、米国の入札情報サイトであるFedBizOpps.Gov²⁾ およびFPDS³⁾より整理した。基本契約および基本契約に基づく個々の発注であるタスクオーダー (TO: Task Order) の双方の情報が入手可能な事例を2件抽出した。

(1) 事例1：連邦道路庁西部公有地道路事務所の例

a) 事例概要

本事例はワシントン州における森林幹線道路等の①緊急補修および②橋梁/道路の建設工事である。表-1に事例概要を示す。

表-1 事例概要

項目	内容
事例名	Washington 8(a) Construction Multiple Award Task Order Contract (MATOC) Indefinite Delivery Indefinite Quantity contracts (ID/IQ) for multiple road and bridge construction projects
入札案内番号	DIFH70-09-R-00027 (Phase1) DIFH70-10-R-00001 (Phase2)
分類	Y – Construction of structures and facilities
発注者	FHWA, Western Federal Lands Highway Division (WFLHD) (Vancouver, Washington State)
事業概要	①緊急補修および②橋梁/道路の建設工事
中小企業対策	8(a) competitive 小企業向け (年間売上\$33.5M 以下)
支払い	FFP (固定価格)
入札参加者数	不明
契約者数	8者 (予定8者以下)
契約期間	3年間
契約額の最大	\$20,000,000 (20億円)

TO 規模	\$5,000-\$5M (50 万円-5 億円) 契約官の判断により \$5,000 未満の場合あり
最低保証額	\$2,000 (各基本契約について 3 年間)
契約プロセス	Phase1 入札事前案内 : 2009/7/14 入札案内 : 2009/8/12 提案締切 (技術情報) : 2009/9/10 Phase2 (Phase1 通過の 9 者による) 入札事前案内 : 2009/10/23 入札案内 : 2009/11/24 提案締切 (価格提案) : 2010/2/9 特定 (基本契約および初回 TO) : 2010/3/10
評価基準	二段階方式による LPTA Phase1 要素 1 : 元請け企業の近年の関連する経験 (過去 3 年、2~5 件) 要素 2 : 保証金支払能力 技術的に容認可/不可で評価。不可の企業はこの段階で排除。 Phase2 要素 3 : 初回 TO に対する価格提案

b) 基本契約

入札は技術情報を提出する Phase1 と、Phase1 を通過した企業のみが参加して価格競争を行う Phase2 の二段階選定方式が採用された。FAR 15.101-2 に規定される技術的に許容可能な最低価格 (LPTA :Lowest Price Technically Acceptable) の基準により受注者が選定された。Phase1 は 9 者が通過し、Phase2 ではこれら 9 者が初回のタスクオーダーである橋梁の撤去工事に対する価格提案を行い、上位 8 者が基本契約者として特定された。なおトップの 1 者は本入札の結果により初回タスクオーダーを受注した。価格提案に使用された見積表を表-2 に示す。

表-2 初回タスクオーダーの見積表

支払い項目	数量	単価	入札額
着工準備	一式	—	\$
測量と杭設置	一式	—	\$
土壌流出・堆積物管理	100 フィート	\$	\$
刈払いと徐根	0.2 エーカー	\$	\$
橋梁撤去	一式	—	\$
道路掘削	1,300 立方ヤード ^b	\$	\$
転石	5 箇所	\$	\$
サマタチノ付付き油圧ショベル (容量 1 立方ヤード以上)	10 時間	\$	\$
芝張り	1,000 平方ヤード ^b	\$	\$
		合計	\$

基本契約の最低保証額が設定されており、契約期間を通して \$2,000 である。保証額の支払いのために、契約担当官は特命発注とすることが出来る。

c) タスクオーダー

2010 年 3 月の基本契約以降、2012 年 6 月までに FHWA より初回を含む 9 件のタスクオーダーが発注されている。発注された 9 件の工事内容は、道路の緊急補修・改良、橋梁の撤去、盛土補強等である。タスクオーダーの一覧を表-3 に示す。

入札案内から契約の相手方の特定に要する日数は、初回タスクオーダーは基本契約の契約者を特定するため 107 日要しているが (休日を含む、以下同じ)、その他のタスクオーダーでは 30 日~80 日 (平均 54.3 日) となっている。契約額は 9 万~180 万ドル (900 万~1 億 8,000 万円) であり、その最大額は入札案内書のタスクオーダー規模の最大である 500 万ドルの 4 割に満たない。応札者数は 1 件を除き 4 者以上であり、大部分のタスクオーダーの入札に基本契約者の半数以上が参加している。落札者の選定基準は、LPTA を用いた⑤の 1 件を除き、最低価格による選定が採用された。

FHWA の他、林野庁 (US Forest Service) から本事例の基本契約者に対して、表-3 以外に 2 件のタスクオーダーが発注されている。

表-3 タスクオーダーの概要

TO No. : 入札書番号 工事名 施工場所	案内日 特定日 日数	契約額	応札 者数
初回 TO : DTFH70-10-R-00001 Jody Mullins 橋撤去 Gifford Pinchot 国有林	2009/11/24 2010/3/10 107 日	\$323,524	9 者
① : DTFH70-10-R-00005 White Chuck River 道路緊急補修 Mt. Baker-Snoqualmie 国有林	2010/4/27 2010/6/9 44 日	\$1,635,627	4 者
② : DTFH70-10-R-00011 Suitttle River 道路緊急補修 Mt. Baker-Snoqualmie 国有林	2010/6/7 2010/8/6 61 日	\$1,784,781	4 者
③ : DTFH70-11-R-00001 Quinault South Shore 道路歩道改良 Olympic 国有林	2010/10/29 2010/12/13 46 日	\$93,856	6 者
④ : DTFH70-10-R-00014 White Chuck River 道路廃道化工事 Mt. Baker-Snoqualmie 国有林	2011/2/2 2011/4/22 80 日	\$434,019	5 者
⑤ : DTFH70-11-R-00006 Crescent 湖盛土補強用捨石設置 Olympic 国有林	2011/6/14 2011/8/9 57 日	\$603,950	4 者
⑥ : DTFH70-11-R-00013 Benham Creek 恒久補修 Gifford Pinchot 国有林	2011/6/28 2011/8/16 50 日	\$1,346,889	4 者
⑦ : DTFH70-11-R-00014 Tacoma Pass FSR52 号線緊急補修 Mt. Baker-Snoqualmie 国有林	2011/7/26 2011/8/24 30 日	\$ 229,825	4 者
⑧ : DTFH70-12-R-00003 FSR99 号カルバート再構築、 車道補修 Gifford Pinchot 国有林	2012/6/20 2012/8/24 66 日	\$248,982	1 者

(2) 事例2：陸軍工兵隊ニューオリンズ管区の事例

a) 事例概要

本事例は、陸軍工兵隊ニューオリンズ管区が複数保有する河川事業を対象とした MATOC の 1 つである。表-4に事例概要を示す。

表-4 事例概要

項目	内容
事例名	Multiple Award Task Order Contract (MATOC) Greater New Orleans And Southern Louisiana Hurricane Protection And Restoration
入札案内番号	W912P8-10-R-0050
分類	Y - Construction of structures and facilities
発注者	米国陸軍工兵隊、ニューオリンズ管区
事業概要	ハリケーン防御施設の復旧（堤防、擁壁護岸、揚排水ポンプ場、道路、カルバート・U字溝水路工事、コンクリート橋、水路の拡張・表面保護工、前浜保護）
中小企業対策	100% Hubzone Set-Aside
支払い	FFP（固定価格）
入札参加者数	26者
契約者数	9者（予定5者以上）
契約期間	1年間（+追加1年間×2回）
契約額の最大	\$250,000,000（250億円）
TO 規模	\$10M-\$50M（10-50億円） *初回 TO は \$5M-\$10M（5-10億円）
最低保証額	\$10,000（100万円）
契約プロセス	入札事前案内：2010/7/15 入札案内：2010/7/23 提案締切：2010/8/24（最終変更時） 特定（基本契約）：2010/12/20 特定（初回 TO）：2010/12/21
評価基準	ベスト・バリュー・トレード・オフ（FAR15.101-1 と補完規則） 要素1：過去実績（安全面を含む） 要素2：技術経験（提携者を含む） 要素3：管理体制と主要担当者 要素4：初回 TO に対する技術アプローチ（工程管理を含む） 要素5：価格提案 重要度：要素1＞要素2, 3, 4＞要素5 要素5（価格）は評点を行わないが、ベストバリューの決定に対して重要となる

b) 基本契約

提案は過去実績（Volume I，要素1），技術提案（Volume II，要素2～4）と価格提案（Volume III，要素5）に分けて提出される。過去実績と技術提案の分量について合計で最大70頁の制約がある。

価格提案は初回のタスクオーダー（ポンプ場修理）が対象となり、47の項目の単価および総額を提案する。受注者は、技術提案と価格提案の総合に対する最良のベストバリューにより選定される。ここで提案される見積りや単価は基本契約者の選定ならびに初回タスクオーダー

の契約者選定および契約の履行に対してのみ適用されるもので、後のタスクオーダーについて拘束するものではない。

c) タスクオーダー

2010年7月の基本契約締結以降2013年11月までの2年5ヶ月間で31件のタスクオーダーが確認できる。そのうち2010年と2011年に契約が締結された8件を表-5に示す。

表-5 タスクオーダーのリスト

TO No. : 入札書番号 工事名 施工場所	案内日 特定日 日数	契約額	応札 者数
初回：W912P8-10-R-0050 Golden Meadow ポンプ場補修 Lafourche 郡	2010/7/23 2010/12/20 151日	\$7,380,137	9者
①：OSP00511H0001 排水機場 No.5：発電機含む 300CFS ポンプ2基設置 Orleans 郡	2011/3/3 2011/4/6 35日	\$30,837,663	不明
②：WBV011-11-H-0004 ミシシッピ川堤防ハケン・暴風被害 リスク低減システム代替対策 Plaquemines 郡	2011/3/25 2011/4/6 13日	\$15,547,392	3者
③：WBV03111H0005 ミシシッピ川堤防 3.1 西岸付近ハケン・暴風被害リスク低減システム代替対策 Plaquemines 郡	2011/3/25 2011/4/6 13日	\$10,244,100	5者
④：SELA11H0002 Justice 運河/Oil Company 運河 改良事業 Jefferson 郡	2011/3/4 2011/6/21 110日	\$13,642,183	5者
⑤：LGM022-11-H-0003 ハリケーン防護事業フェーズ 1, Larose 洪水防護壁1の修繕 Lafourche 郡	2011/7/25 2011/8/15 22日	\$5,190,804	8者
⑥：SELA10-11-H-0007 Mayronne 運河改修 Jefferson 郡, Dugues 運河～ Westwood Drive	2011/8/9 2011/8/29 21日	\$3,345,580	8者
⑦：WBV15B-11-H-0006 ミシシッピ 西岸と周辺地域のハケン 防護事業, Cataouatche 湖排水 機場 No.2 エンジン交換 Jefferson 郡	2011/8/15 2011/9/12 29日	\$1,371,654	6者

入札案内から契約の相手方の特定に要する日数は、初回と4番目のタスクオーダーを除き、13日～35日程度と事例1に比べ短期間となっている（TO①～⑦の平均34.7日）。契約額は130万～3,100万ドル（1.3億～31億円）であり、その最大額は入札案内書に示されたタスクオーダー規模の最大である5,000万ドルに対して約6

割である。また最低額については下限の 1,000 万ドルを下回っている。応札者数については①と②の 2 件を除き 5 者以上となっており、事例 1 と同様、大部分のタスクオーダーの入札に基本契約者の半数以上が参加している。受注者の選定方法について、現地でのヒアリングによると最低価格が主流であり、その理由として基本契約の入札案内時にあらかじめ業務の内容が明確になっており、入札の過程で実績等の技術的事項の確認が可能であるとの意見が挙げられた。

3. まとめ

2 つの実施事例の分析・整理により以下の事項が明らかになった。

- 基本契約の入札案内から受注者の選定に係る手続き期間について、二段階選抜を採用した事例 1 では約 7 ヶ月を要している。一方、事例 2 では約 5 ヶ月であり、二段階選抜は相応の時間を要している。
- 基本契約者の選定については価格以外の要素を考慮したベストバリューまたは LPTA による選定が行われている一方、タスクオーダーでは最低価格による選定が主流である。
- 初回を除き、タスクオーダーにおいて入札案内から受注者の特定に要する日数は事例 1 で 30 日～80 日、事例 2 で 13 日～35 日（TO④を除く）であった。国土交通省の総合評価方式において最も手続き期間が短い施

工能力評価型では、ガイドライン⁴⁾によると土日・祝日等を含まない場合で入札説明書の交付から入札まで 29～54 日の手続き期間を要する。これを祝日を含まず、土日のみを含んだ日数に換算すると 41 日～76 日に相当する。数量未確定契約は我が国の手法と比較した場合、短期に調達が可能な方式であるといえる。

- いずれの事例においても、契約金額の規模と手続きに要した日数の相関は見られない。
- タスクオーダーの契約額について、最大額は入札案内書に記載の発注規模の最大額に対して事例 1 では 4 割未満、事例 2 では約 6 割であった。最少額について事例 2 では発注規模の最少額を下回る案件も見られる。
- タスクオーダーの応札者数について、大部分の案件で基本契約者の半数以上が参加する傾向が見られた。基本契約者数に配慮し、競争性を確保しているものと推察される。

参考文献

- 1) 森田, 天満, 佐渡, 勝山: 米国における複数の受注者との数量未確定契約 (1) 概要と適用状況, 土木学会, 2014
- 2) FedBizOpps.Gov: Federal Business Opportunities (<https://www.fbo.gov/>)
- 3) FPDS: Federal Procurement Data System (https://www.fpds.gov/fpdsng_cms/index.php/en/)
- 4) 国土交通省: 国土交通省直轄工事における総合評価方式の運用ガイドライン, p2-11, 2013

(2014. 10. 21受付)

A Review on the Case Examples of Multiple Awards Indefinite Delivery Indefinite Quantity Contracts in the United States

Tomoo TEMMA, Yasuo MORITA, Chikako SADO and Hirotooshi KATSUYAMA

Open bidding and comprehensive evaluation are generally applied to procurement, with respect to each construction project, by the Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism in Japan. However diversification of the procedure according to its objective is necessary to improve effectiveness.

Multiple-Award Indefinite Delivery Indefinite Quantity Contracts (IDIQ) are used in order to streamline procurement procedure in the United States. As reference for the Japanese procurement system, 2 case examples of construction works' procurement with use of IDIQ contract were reviewed. This paper provides such information as the method to select awardees, the days required for the procedure for the both IDIQ contract and task orders and the number of offerors for task orders as the findings of the review.